

ファイル名 ≠ ファイルの実体

- UNIXでのファイル名は必ずしもファイルの実体とは限らない。
- ファイルの実体は「i-node番号」で表す・・・
ls -i で出てくる番号
- ファイルの内容のアクセスは、
 - ① ファイル名
 - ② ファイルの実体 (i-node番号)
 - ③ ファイルの内容の順で行われる

144

2種類のファイルの名前

- ハードリンク (実リンク)
ファイルの本名.
どんなファイルでも1つ以上のハードリンクを持つ.
すべてのハードリンクがなくなるとファイルの実体が消される.
- シンボリックリンク (ソフトリンク)
ファイルの別名

145

ハードリンク

- `ls -l` の出力で、`-rw-r--r--` の右に出ている数字がハードリンクの数
- `ln 実在名 新名` でハードリンクを張ることができる
- 実体と同じなので、同じi-node番号となる（確認してみよう！）
- 実体と同じなので、片方を修正すると他方も変わる

146

シンボリックリンク

- `ln -s 実ファイル名 新名` でシンボリックリンクが張れる
- 新名のモードは必ず `lrwxrwxrwx` になり、実際のアクセス権はリンク先のモードになる
- i-node番号は異なる（確認してみよう！）
- リンクを張り替える時は、古いリンクを（`rm`コマンドで）消去して、張り直す
- 実体が消されても、リンクは残る（もちろんたどれない）

147

ディレクトリのリンク

- ディレクトリに対しては、ハードリンクは張れないが、シンボリックリンクは張れる
- このリンクの消去はrmコマンドで行う